

社会資本総合整備計画

防災・安全交付金

平成29年12月22日

計画の名称	鹿児島市における安全・安心、快適な暮らしの実現（防災・安全）													
計画の期間	平成27年度 ～ 平成31年度（5年間）										重点配分対象の該当			
交付対象	鹿児島市													
計画の目標	下水道施設の適切な整備更新を行うことで、住民に良好かつ継続的なサービスを提供するとともに、浸水被害の軽減を図るなど安全・安心、快適な暮らしを実現する。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		537	A	537	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H26末	H29末	H31末
1	ストックマネジメント計画策定率を0%(H26末)から100%(H31末)に増加させる。			
	ストックマネジメント計画策定率	0%	100%	100%
	ストックマネジメント計画策定済みの数（計画）／ストックマネジメント計画の策定すべき数（計画）			
2	雨水ポンプ場の増設を行うことでポンプ場排水能力を54%(H26末)から100%(H31末)に増加させる。			
	概ね10年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全であるようポンプ施設の整備が完了している割合	54%	54%	100%
	ポンプ施設の整備済み能力(m3/s)／概ね10年に1回程度発生する規模の降雨に対して安全であるポンプ施設の計画能力(m3/s)			
3	雨水管理総合計画の策定率を0%(H26末)から100%(H31末)に増加させる。			
	雨水管理総合計画の策定率	0%	0%	100%
	雨水管理総合計画策定済みの数（計画）／雨水管理総合計画を策定すべき数（計画）			
4	ストックマネジメント計画に基づく処理場・ポンプ場施設の更新及び長寿命化対策実施率を0%(H26末)から52%(H31末)に増加させる。			
	処理場・ポンプ場施設の更新及び長寿命化対策実施率	0%	0%	52%
	更新及び長寿命化対策完了済みの機器（機器）／更新及び長寿命化対策を実施すべき機器（機器）			
5	汚水及び雨水ポンプ場の耐震診断実施率を0%(H26末)から42%(H31末)に増加させる。			
	汚水及び雨水ポンプ場の耐震診断実施率	0%	14%	42%
	耐震診断済みの施設数（ポンプ場）／耐震診断を実施すべき施設数（ポンプ場）			
6	汚水及び雨水ポンプ場の耐震対策実施率を0%(H29末)から33%(H31末)に増加させる。			
	汚水及び雨水ポンプ場の耐震対策実施率	0%	0%	33%
	耐震対策済みの施設数（ポンプ場）／耐震対策を実施すべき施設数（ポンプ場）			

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中核都市圏を含む	－
平成30年度からの重点計画切り出しに伴い、雨水施設について重点計画へ移行しているが、成果目標の指標については、重点計画で実施した施設についても加味したものとする。								

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	鹿島市	直接	鹿島市	ポンプ 場	改築	浄化センター外 6 ポンプ 場 改築（長寿命化計画 ）	調査	鹿島市	■					21		策定済
		長寿命化																	
	A07-002	下水道	一般	鹿島市	直接	鹿島市	ポンプ 場	新設	西牟田雨水ポンプ場 増 設（浸水対策）	ポンプ機械、電気設備	鹿島市			■			20		－
	A07-003	下水道	一般	鹿島市	直接	鹿島市	管渠（ 雨水）	－	高津原・西牟田排水区雨 水流出解析（浸水対策）	雨水流出解析	鹿島市		■				16		－
	A07-004	下水道	一般	鹿島市	直接	鹿島市	－	改築	ストックマネジメント計 画策定	ストックマネジメント計画策 定	鹿島市		■				22		策定済
		ストマネ																	
	A07-005	下水道	一般	鹿島市	直接	鹿島市	管渠（ 雨水）	－	南舟津排水区外 4 排水区 雨水流出解析（浸水対策 ）	雨水流出解析	鹿島市		■				13		－
	A07-006	下水道	一般	鹿島市	直接	鹿島市	管渠（ 雨水）	－	雨水管理総合計画策定（ 浸水対策）	計画策定	鹿島市			■			20		未策定
		雨水管理																	

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-007	下水道	一般	鹿島市	直接	鹿島市	ポンプ 場	改築	浄化センター外4ポンプ 場 改築（ストックマネ ジメント計画）	機械・電気設備	鹿島市			■	■	■	140		策定済
		ストマネ																	
	A07-008	下水道	一般	鹿島市	直接	鹿島市	管渠（ 雨水）	新設	高津原雨水準幹線整備（ 浸水対策）	水路工 L=0.3km	鹿島市			■	■		35		－
	A07-009	下水道	一般	鹿島市	直接	鹿島市	ポンプ 場	改築	西牟田雨水ポンプ場外2 ポンプ場 耐震診断	耐震診断	鹿島市			■	■		30		－
	A07-010	下水道	一般	鹿島市	直接	鹿島市	ポンプ 場	改築	西牟田雨水ポンプ場外2 ポンプ場 耐震対策	沈砂池外耐震補強	鹿島市			■	■	■	90		－
	A07-011	下水道	一般	鹿島市	直接	鹿島市	管渠（ 污水）	改築	マンホール蓋更新（スト ックマネジメント計画）	マンホール蓋更新	鹿島市				■	■	120		策定済
		ストマネ																	
	A07-012	下水道	一般	鹿島市	直接	鹿島市	管渠（ 污水）	改築	污水管点検・調査（スト ックマネジメント計画）	污水管路点検・調査	鹿島市				■	■	10		策定済
		ストマネ																	

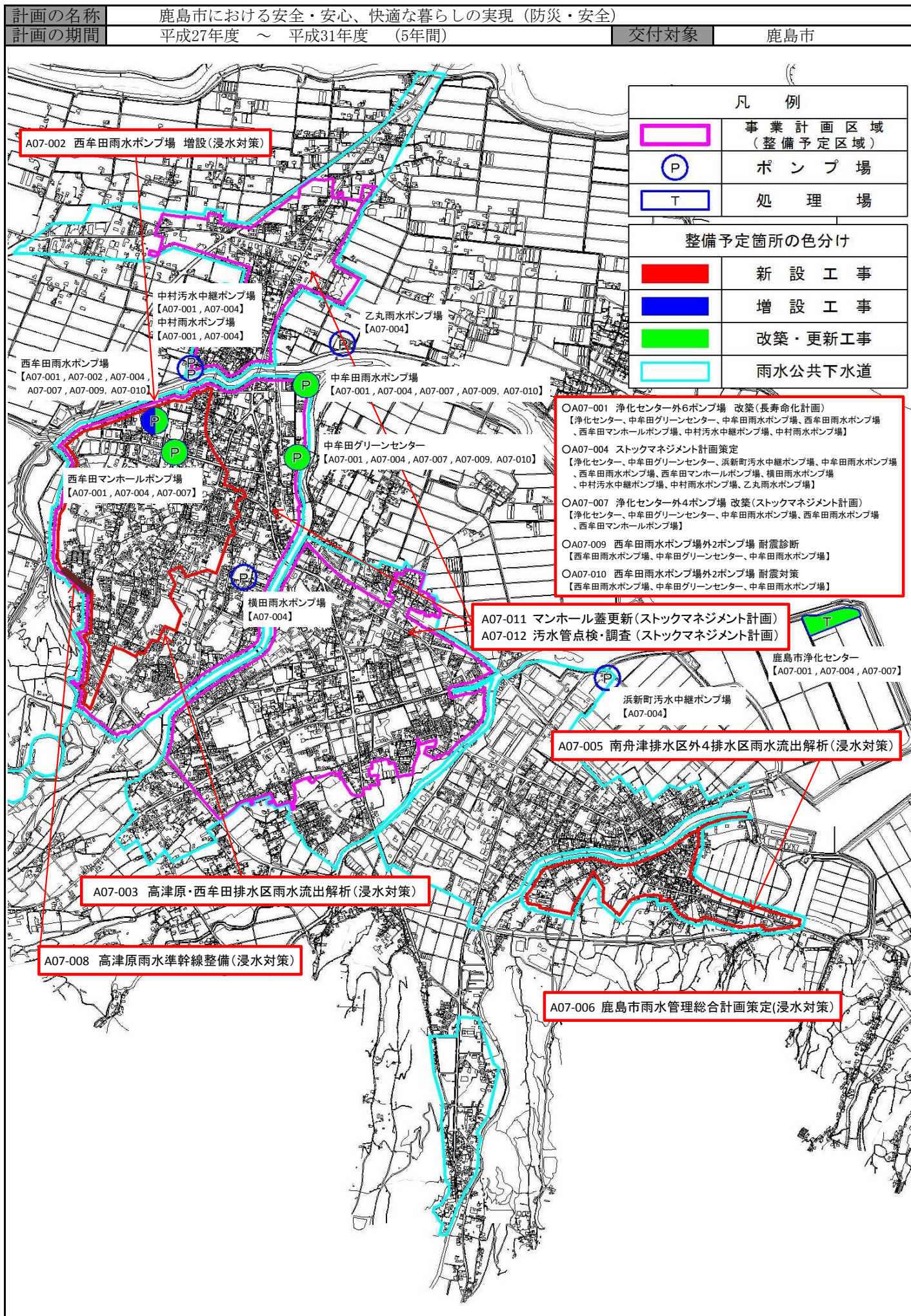
A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
											小計						537		
											合計						537		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H27	H28	H29	H30	
配分額 (a)	11	19	54	71	
計画別流用増△減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	11	19	54	71	
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0	19	
支払済額 (e)	11	19	35	53	
翌年度繰越額 (f)	0	0	19	37	
うち未契約繰越額(g)	0	0	14	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	25.92	0	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

(参考図面) 社会資本総合整備計画



事前評価チェックシート

計画の名称： 鹿島市における安全・安心、快適な暮らしの実現（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 計画の目標が事業計画と適合している。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題を踏まえて整備計画の目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 基幹事業と効果促進事業の一体性が確保されている。	
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性 整備計画の具体性など、事業熟度が十分である。	○
III. 計画の実現可能性 計画内容について住民等との間で合意が形成されている。	○
III. 計画の実現可能性 継続的な下水道整備の展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 事業実施のための環境整備が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 下水道普及率の向上を図るための機運がある。	○